

統合演習「正義使命-2025」



(出典：央视军事微博20251230)

2026. 1. 30

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

※ 本書の無断転載、複写、複製を禁じます。
衛星画像は著作権の関係上Vantor社の画像使用は別途申請が必要、また（禁転載）とある画像は申請不可・転載禁止です。

項 目

- 1 演習の概要
- 2 今次演習の特徴
- 3 まとめ

演習の概要：中国側報道

東部戦区発表

○ 12/29、東部戦区は「正義使命-2025」統合演習を開始

◇ 部隊：陸・海・空・ロケット軍等

◇ 場所：台湾周辺5カ所（図1）

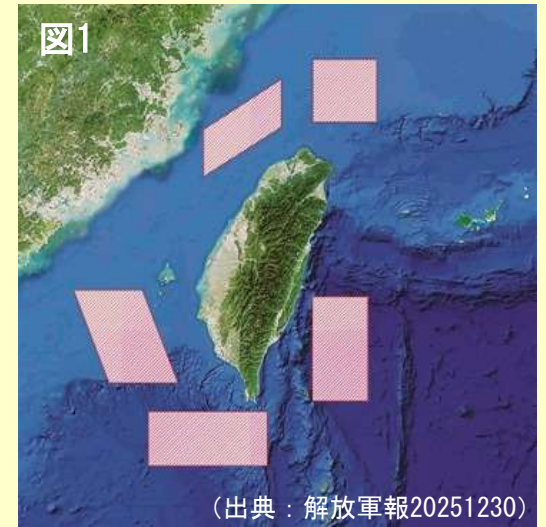
◇ 主要演練項目：

- ・ 海空戦備警戒パトロール
- ・ 総合制権奪取
- ・ 主要港・要域封鎖
- ・ **外線立体阻止**

◇ 対象：台独分裂勢力と**外部の干渉勢力**への嚴重な警告

○ 12/30、0900、1300に陸軍による実弾射撃

○ 12/31、演習任務を完遂し終了、部隊の統合作戦能力を全面的に検証



中国海事局発表

12/30 0800～1800、実射含む演習のため、7カ所の海域で航行禁止

海警発表

12/29～30、福建海警は台湾・馬祖・烏丘周辺海域で総合法執行パトロールを実施。識別、警告駆逐、臨検拿捕等を演練

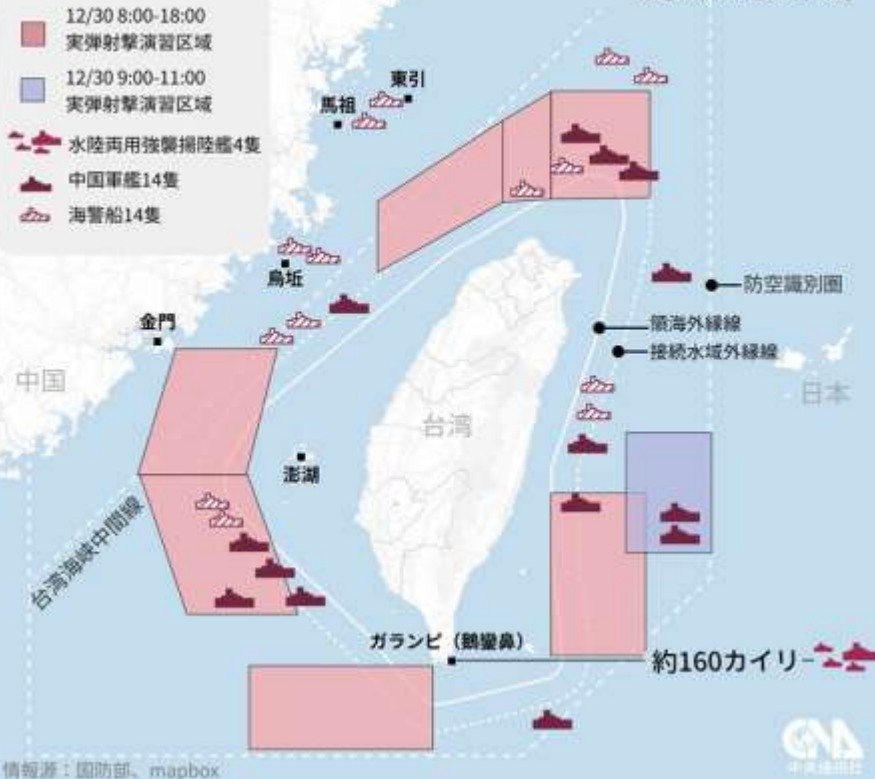
演習の概要：台湾側報道

- 12/30 0900~1100、台湾東部海域に予告なしの演習区域設定
- 艦艇・海警船は領海侵入はないものの、接続水域には進入
- 実弾射撃の一部は接続水域内に着弾

12/29

中国軍「正義使命2025」演習の概要

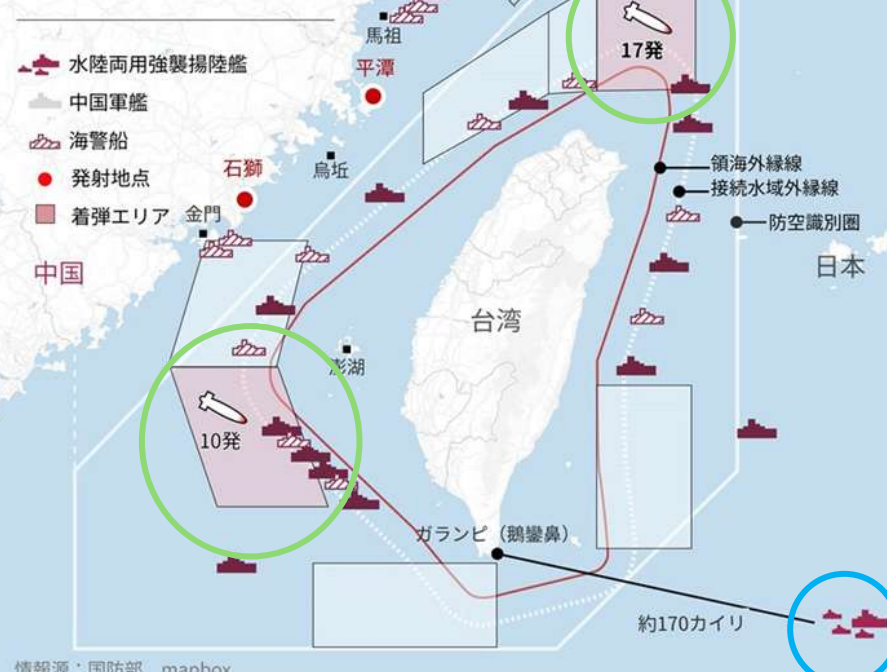
時間:12月29日-30日18時



12/30

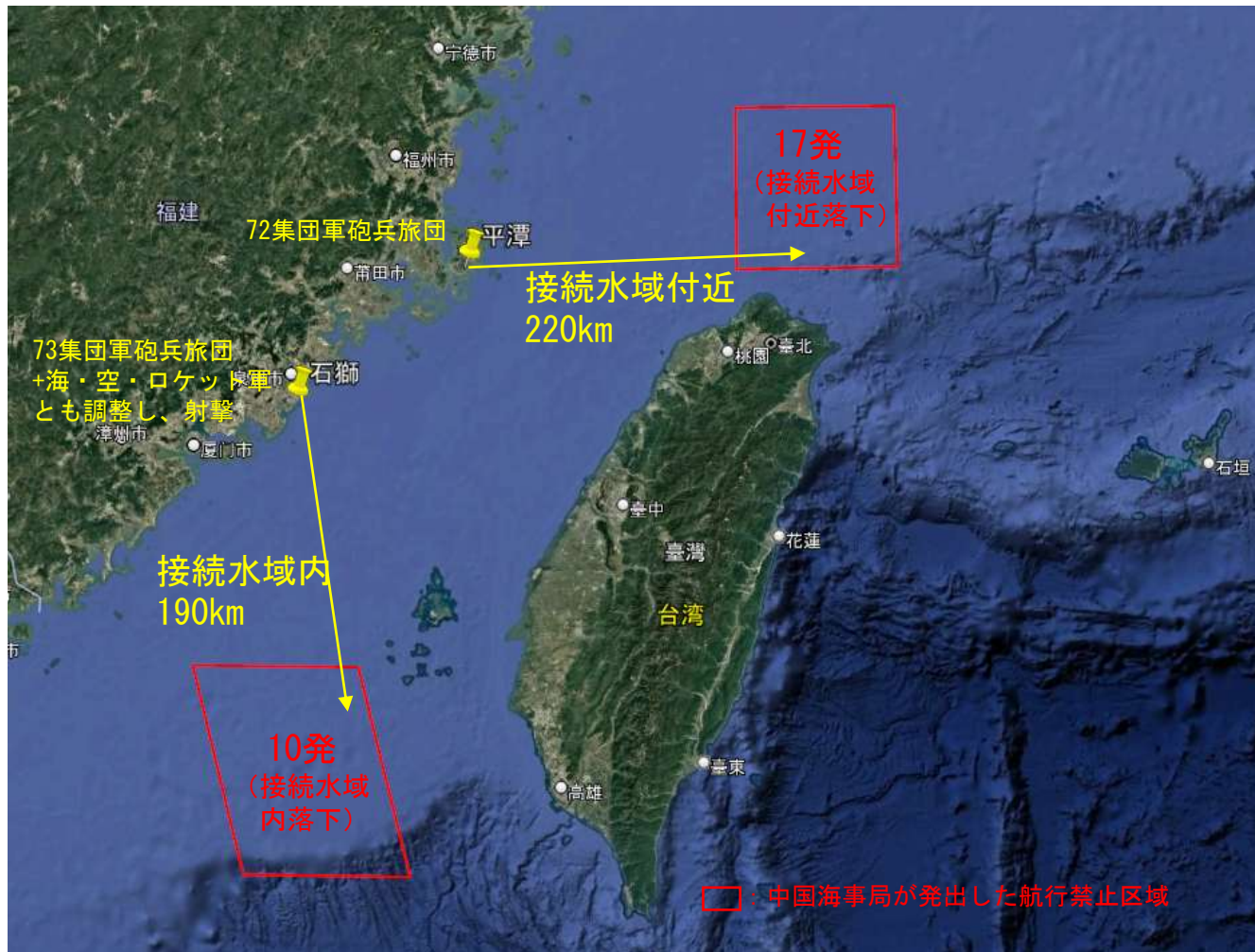
中国軍「正義使命2025」演習の概要

12月30日、中国軍は福建省の平潭や石獅から、台湾北部海域および南西海域に向けて多連装ロケット弾計27発を発射した。



陸軍：多連装ロケット砲実弾射撃

2022年（弾道ミサイル）以来の台湾周辺海域への実弾射撃



PHL191多連装ロケット砲
射程：70～480km（搭載ミサイル別）
2025年4月の海峡雷霆演習時には
50km離れた射爆場に実射



UAVが射撃関連の情報収集を実施
画像は着弾点の撮影



- 陸軍集団軍**独自**で台湾本島を**直接攻撃**できる火力を保持、**着上陸能力**大幅に向上
- 陸海空火力統合やUAVとの連携が深化、実射により火力配分・情報共有等を検証

海軍：強襲揚陸艦の参加

- 3個編隊（東部戦区）が台湾北・南・東海域に、1コ強襲揚陸艦編隊（南部戦区）が台湾南東海域に展開、制海空権奪取・要域封鎖・統合打撃能力を検証
- 強襲揚陸艦編隊は、海軍陸戦隊のHbnにより**立体輸送**、**港湾奪取**（模擬）を演練

ユーシーン級揚陸艦「海南」含む4隻編隊（南部戦区）が台湾東南沖約300kmに展開



（出典：軍事報道20251229）

揚陸艦甲板上で着上陸のため、輸送へりに乗り込む海軍陸戦隊隊員



（出典：軍事報道20251229）

参加したユーシーン級揚陸艦「海南」



（出典：東部戦区微博20251230）

- ・ 排水量3万t
- ・ 搭載：装甲車×50～70
ヘリ×30
- ・ 経海空同時着陸可能
- ・ 東部・南部戦区にそれぞれ2隻配備

- **南部戦区**の揚陸艦により、**海軍陸戦隊**を政経中枢・港湾・空港等要域確保等、**重要目標**に対し**奇襲的に運用**する可能性
- 東部戦区の揚陸艦は陸軍を輸送し、海岸堡確保のため主作戦方面で使用（本演習では訓練項目外）

空軍：台湾周辺での活動

無人機含む編隊が、空域封鎖・立体阻止等を演練



(出典：東部軍区微博20251230)

台湾が公表した中国軍機の活動状況

聯合利剣2024A 5/24

62ソーティ



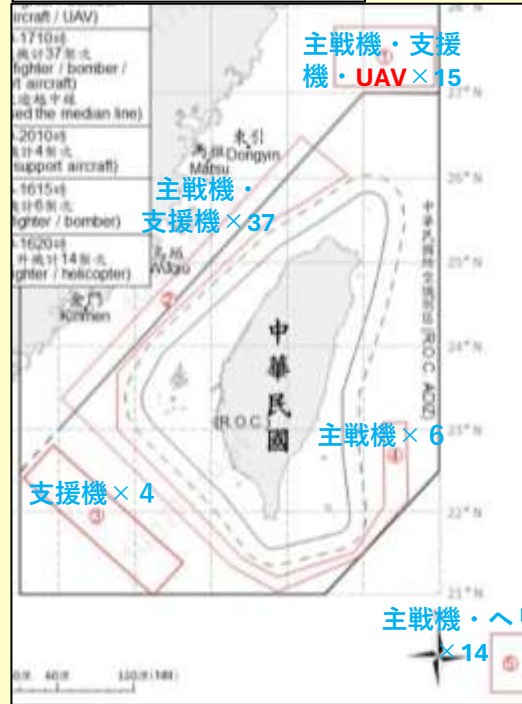
聯合利剣2024B 10/14

153ソーティ



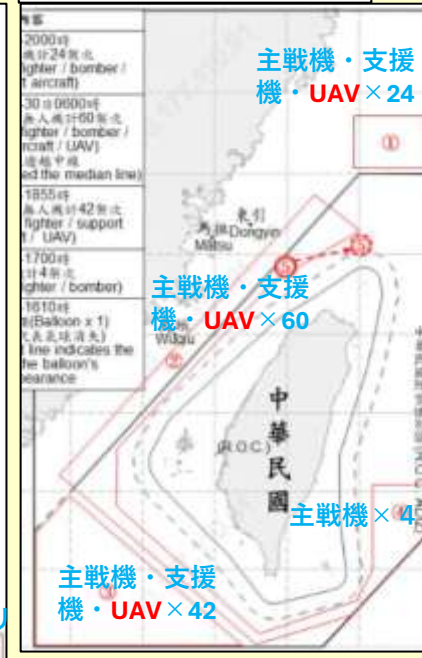
海峡雷霆2025A 4/1

76ソーティ



正義使命2025 12/29

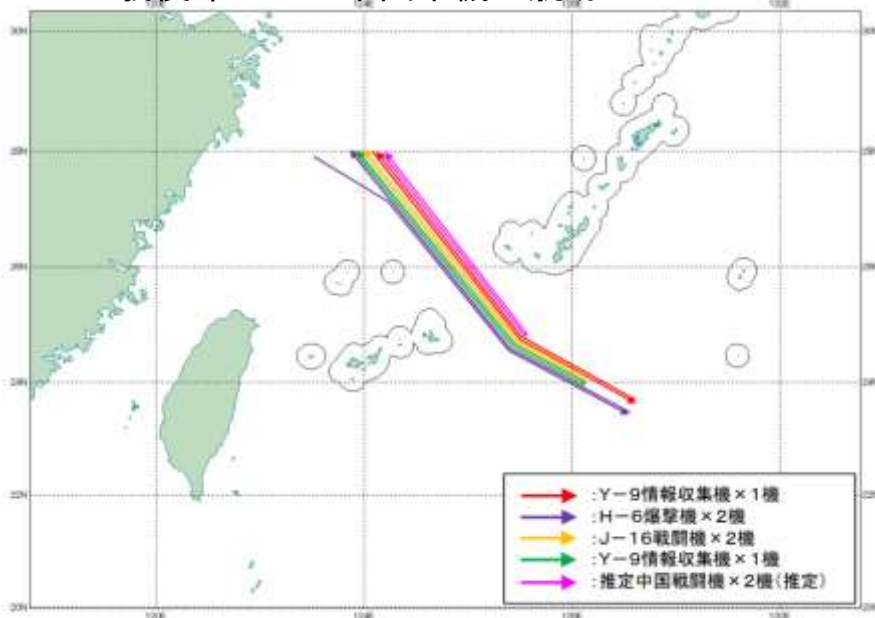
130ソーティ



- 接続水域上空には進入しないものの、空域封鎖を企図した演習を継続
- 無人機の運用機数・空域が逐次拡大

12/29、H-6爆撃機×2がストライクパッケージを組んで太平洋に進出

12/29 正義使命2025の中国軍機の航跡



(出典：図、写真共に統合幕僚監部20260105)

- H-6は西太平洋で、弾道ミサイル等と連携した米艦艇への攻撃を演練した可能性
- 東部戦区統合演習でH-6編隊が台湾周辺でなく、西太平洋方向に進出したのは初確認、台湾への接近阻止を重視した演習の可能性

ロケット軍：中距離弾道ミサイルの参加

弾道ミサイルTEL（輸送起立発射機）が各地に展開、**全軍火力打撃システム**の中で**情報共有・火力配分**等を行い、**敵艦艇・重要軍事目標**等に**模擬波状攻撃**を実施

DF-15B (SRBM)
射程900km



DF-16 (SRBM)
射程1000km



DF-17 (MRBM)
射程2000km



DF-26 (IRBM)
射程3000~4000km

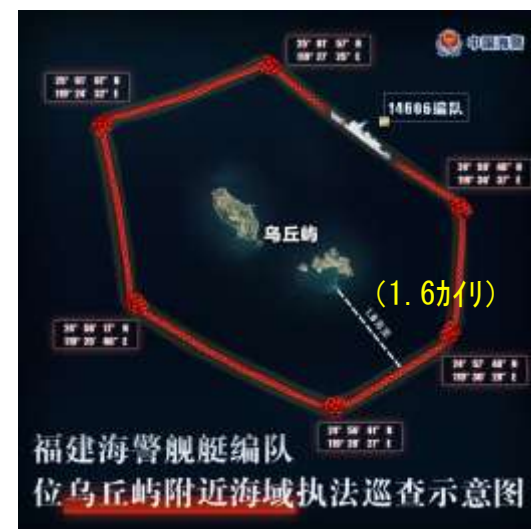


- 台湾へ指向するSRBMは統合演習報道で度々確認されているが、**DF-17・26は初**
- 第1列島線以東での対艦能力を有する**MRBM・IRBM**が、**接近阻止**を演練した可能性

海警：法執行パトロール地域

中国側報道

- 12/29、福建海警は台湾・馬祖・烏丘周辺海域で総合法執行パトロールを実施。識別、拿捕、拘留、駆逐等の演練を実施
- 12/30、福建海警は台湾周辺でパトロール継続。識別、警告駆逐、臨検拿捕等の演練実施



(出典：いずれも環球網20251230、黄字は筆者が追記)

- 離島は領海内全周を、本島は重要港湾を包囲し、大陸方向のみ逃げ道を解放
- 台湾民衆に大陸との連携以外に道はないと威嚇

海警：取締り対象等

HIMAR積載貨物船の阻止



東から逃亡する高速艇の阻止



翼竜-2偵察攻撃無人機が登場



(出典：いずれも環球網20251231)

- 台湾東岸を重視し、無人機も利用した監視体制を演練とアピール
- 頼政権には海外での亡命政権樹立阻止を、米国には台湾への武器供与の阻止を實力を以って実施するとの意思を表明

サイバー・認知戦

演習間のサイバー攻撃等（台湾国家安全局発表）

- サイバー攻撃件数：28日×154万、29日×208万、30日×209万
- SNSへの偽情報等の投稿：12/29～1/2で19,000件以上、異常なアカウント設置×799

中国側公式報道での誘導

中国軍機が台北市の101ビル上空を飛行し、TB-001無人機が撮像したかのような報道



記者会見で否定すると共にX等で注意喚起

台湾国防部の対応



中国も台湾の対抗措置は織り込み済み。嘘とすぐわかるようなも含め、様々な偽情報を多ルートで大量に流布する物量作戦が中国の典型的な手法

演習対米メッセージ

解放軍報「鈞声」（「軍の声」の意）20251230

- **米国**は海峡情勢悪化に対し、逃れられない**責任**を有す
- 最新の**NSS**で「台湾海峡の現状を変更する如何なる一方的な行動も支持しない」と表明したにもかかわらず、関係格上げ・武器売却等**実際の行動は異なる**
- 米国に対し、**台独勢力に武器供与しないよう**忠告する

東部戦区演習ポスター

(出典：東部戦区微博20251229、黄字は筆者追記)



武器供与の状況

- 12/18、米は台湾へ111億ドル（**過去最高額**）の武器売却承認を発表
- 高機動ロケット砲**HIMARS**、長射程地对地ミサイルATACMS（最大射程300km）、アルティウス偵察攻撃無人機（飛行距離440km）等**大陸を射程内**におさめる装備を含む

- 演習ポスターで米供与の武器輸送船や米軍アセットを阻止する「正義の盾」をアピール
- トランプ米大統領の訪中も見据え、**米アセット**に対し、**接近阻止**の演練を重視し、**軍事力を以って対抗**する意思を示した可能性

まとめ：過去の演習との比較

過去の演習区域との比較（出典：CNA20251230）

注：赤字が最大数、青字が2番目

共軍「正義使命-2025」軍演範囲示意图

時間：12月29日-30日18時



台湾周辺展開 アセット数比較		海軍 艦艇	公務 船	軍用機		
				総数	中間越	
24年	聯合利劍A	5/23	19	7	49	35
		5/24	27	0	62	47
	聯合利劍B	10/14	14	12	153	111
		12月演習 (公表なし)	12/10	11	8	53
	12/11		16	0	34	22
25年	統合演習	4/1	15	4	76	37
	海峡雷霆A	4/2	23	8	59	31
	正義使命	12/29	14	8	130	90
		12/30	17	8	77	35
		12/31	17	8	2	1

(資料源：台湾国防省HP。翌日纏の為、台湾国防省BF時の隻数とは数の相違あり)

区域：規模や台湾本島への接近度に
 顕著な変化なし

台湾周辺での展開：1日当たりの展開規模は最大
 ではなし

台湾海上封鎖の演練は継続して実施されており、範囲やアセット数での大きな
 変化はなし

まとめ：過去の演習との変化

名称	聯合利剣2024A	聯合利剣2024B	海峡雷霆2025A	正義使命2025
時期	5/23～24 (頼総統就任)	10/14 (頼・双十節演説)	4/1～2 (頼・域外敵対勢力発言等)	12/29～31 (米武器供与)
対象	台独・外部勢力	台独勢力	台独勢力	台独・外部勢力
区域	本島に離島が追加 →			
部隊	海警が参加 →			
			海上民兵参加 (台湾報道)	
			UAV台湾周辺空域参加	→ 拡大
				MRBM・IRBM参加
演練項目	模擬統合打撃 →			台湾周辺へロケット砲実射
		港湾・要域封鎖 →		
				強襲揚陸艦で東岸上陸
				H-6西太平洋進出

- 聯合利剣～海峡雷霆で海上封鎖検証済、正義使命で米の支援阻止能力検証に移行
- 年々増強させている長距離打撃アセット・UAVの統合運用を実射で有効性を検証

まとめ：見通し・注目点

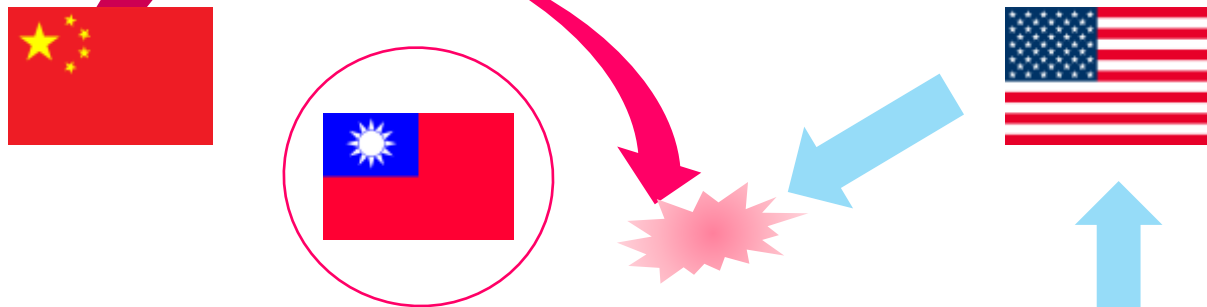
正義使命2025

東部戦区（台湾侵攻主担当）統合演習

接近阻止のための長距離火力打撃検証

⇒ 主対象：接近する米軍

⇒ 軍事力により対抗の意思表示



海上封鎖・米支援阻止を誇示

⇒ 主対象：台湾民衆

⇒ 認知戦により強制統一へ扇動

日本を射程に収めるミサイルは参加も、関連報道未確認

⇒ 日本は米支援のみ、独自で台湾周辺に部隊を派遣しないため、別個に対応の必要なしと判断した可能性

- 今後は、台湾副担当の南部戦区、予備の中部戦区、第1列島線以東等担当の北部戦区が参加する**全国規模の演習**に拡大させ、**戦区を越えた統合**の検証を企図
- **対日指向ミサイル配備**の北部戦区や、**軍を補完する民兵**の演習参加状況に注目

【参考】東シナ海での漁船の集結

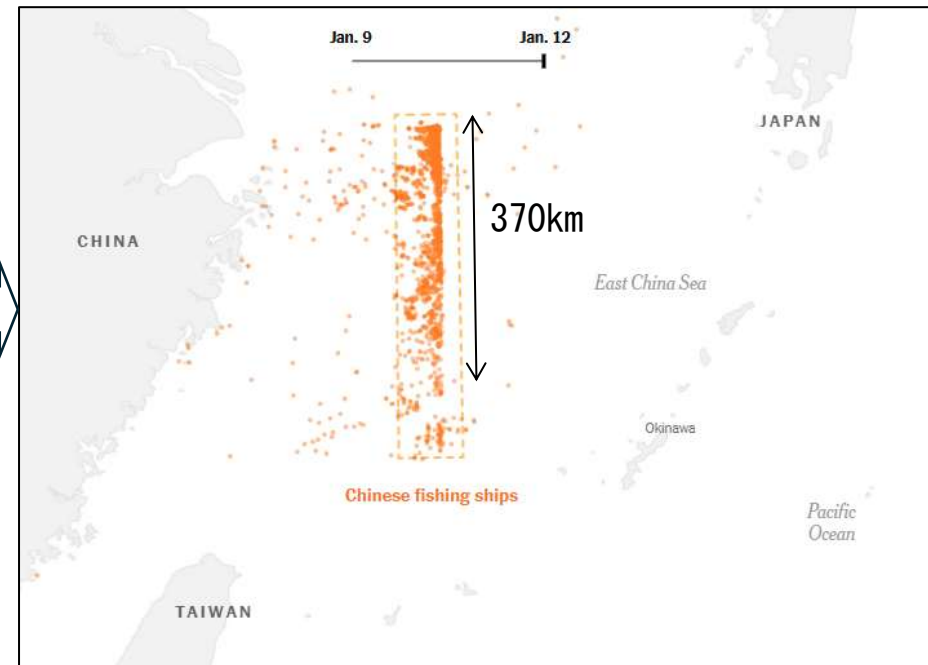
- 2025年12月25日に2000隻、2026年1月11日に1400隻の漁船が東シナ海で集結、海上民兵の演習の可能性
- 海上航路を妨害し、敵国の軍事・補給作戦を複雑化

(資料源 : The New York Times 20260116)

2026. 1. 9の漁船の状況



2026. 1. 12の漁船の状況



現在の中国の対日認識

- 日本で主対象とするべきは防衛力より、それを運用できない法・政治体制
- 体制整備を推進する高市政権転覆を狙いとした認知戦を展開中
- 海上民兵を対日ハラスメントで活用し、高市政権への圧力を強化する可能性も